



平成24年10月3日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
 代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
 (コード番号 9878 東証第二部)
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
 (TEL. 03-6273-2053)

第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成24年4月6日に公表した平成25年2月期第2四半期累計期間の業績予想との差異及び通期業績予想並びに特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

平成25年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値との差異(平成24年2月21日～平成24年8月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,400	△110	△120	△140	△9.87
今回発表実績(B)	7,840	△268	△252	△482	△40.98
増減額(B-A)	440	△158	△132	△342	
増減率(%)	5.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年2月期第2四半期)	8,965	△282	△304	△396	△27.93

差異の理由及び特別損失の計上

当第2四半期累計期間において、当社は、家電部門3店舗、ファッション部門1店舗の不採算店舗を閉鎖する一方、既存店舗の販売管理費の削減に注力してまいりました。ファッション部門では、業務提携によるインターネット通販事業の強化と物流拠点の統合に着手し、新しいチャンネルでの売上の拡大と大幅なコスト削減による収益力の改善に努めました。販促面でも新旧顧客管理システムで蓄積された顧客データ及び購買履歴データを特性ごとに分類し新たな提案につなげる「クラスター分析」を取り入れ、コストパフォーマンスの向上に努めました。

これらの結果、昨年7月の完全地デジ化を境に、映像関連商品の極端な需要低迷が続く家電部門で売上が低迷しましたが、ファッション部門では好調に推移し、売上高は7,840百万円(計画比440百万円増)となりました。一方、利益面では、家電部門での需要低迷の影響による価格下落が見られ、売上総利益率が落込んだことで、販売管理費の圧縮効果はあったものの、営業損失は268百万円(計画比158百万円減)、経常損失は252百万円(計画比132百万円減)と計画を下回ることとなりました。また、家電部門の収益性悪化を受け、特別損失として、たな卸資産評価損79百万円及び固定資産の減損損失を137百万円計上したことにより四半期純損失は482百万円(計画比342百万円減)となりました。

大変残念ではありますが、家電店舗販売事業から速やかに撤退し、経営資源を順調に推移しているファッション事業に集中させることにより、第2四半期累計期間の営業損失及び経常損失を補填するとともに、通期業績の経常黒字を確保し、早期の業績回復を目指してまいります。

セグメント別には次のとおりであります。

[家電部門]

家電部門においては、冷蔵庫やエアコンなどの省エネ指向やLED照明器具、太陽光発電システムといった新エネルギーへの需要を背景に回復が見られるものの、映像関連商品の地デジ化以降の落ち込みが大きく響き、売上高は2,384百万円（計画比△147百万円、前年同四半期比60.4%）、また、売上の大幅な減少に伴い仕入コストが高まったことや売上総利益の減少に販売管理費の削減が追いつかず、セグメント損失は263百万円（計画比△192百万円、前年同四半期は117百万円のセグメント損失）となりました。

[ファッション部門]

ファッション部門においては、業務提携によるインターネット通販事業の強化と物流拠点の統合に着手し、新しいチャンネルでの売上の拡大と大幅なコスト削減による収益力の改善に努めた結果、売上高は5,346百万円（計画比583百万円増、前年同四半期比108.6%）と大幅な伸長を見せ、セグメント利益は55百万円（計画比76百万円増、前年同四半期は164百万円のセグメント損失）と5年ぶりに上半期の黒字決算となりました。

[その他部門]

その他の部門では、売上高は109百万円（前年同四半期比115.7%）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期は37百万円のセグメント利益）となりました。

（ご参考）

ファッション部門の売上高及びセグメント損益

	平成25年2月期 第2四半期累計	平成24年2月期 第2四半期累計	前年同四半期 比増減	計画比増減
売上高	百万円	百万円	百万円	百万円
外部顧客への売上高	5,346	4,925	421	583
セグメント利益又は損失（△）	55	△164	220	76

2. 通期業績予想について

現在、平成24年9月6日付取締役会決議に基づき、家電の店舗販売事業からの撤退並びに希望退職者の募集を実施しておりますが、現時点で完了しておらず、その影響額について合理的な見積りが困難な状況にあるため、通期業績予想については、未定といたします。店舗資産にかかる撤退損失及び撤退後のリソースの再配分並びに希望退職者の応募状況が確定し、業績に与える影響額が判明し次第、通期業績予想の修正について速やかにお知らせいたします。

（ご参考）

平成25年2月期通期業績予想の内容（平成24年2月21日～平成25年2月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
直近の予想 (24年4月6日発表)	百万円 15,900	百万円 70	百万円 50	百万円 20	円 銭 1.41

以 上